

第4回 垂水市総合開発審議会 会議録

1.	日 時	： 令和 5 年 11 月 20 日（月） 10：00 ～ 10：40
2.	場 所	： 垂水市役所 3 階 第一会議室
3.	会 次 第	： 1 開 会 2 市長あいさつ 3 審議 (1) 令和 5 年度市民満足度調査結果の報告について (2) 令和 6 年度のスケジュールについて 4 閉 会
4.	出 席 者	： ・佐野 雅昭 委員 ・小栗 有子 委員 ・堀之内 学 委員 ・福里 由加 委員 ・森 真由美 委員 ・川筋 貴子 委員 ・村野 剛 委員 ・森 千秋 委員 ・宮下 直弥 委員 ・川井田 守 委員 ・鶴飼 康弘 委員
5.	欠 席 者	： ・崎野 剛 委員 ・川崎 あさ子 委員 ・堂藺 一仁 委員 ・市渡 しのぶ 委員
6.	事 務 局	： ・草野 課長 ・二川 総括監 ・菅 主査 ・福永 主任主事 ・隈崎 主事

事務局 1	…	ただいまより、第4回垂水市総合開発審議会を開催いたします。 私は進行を務めさせていただきます、企画政策課長の草野でございます。 皆様にはご多用のところ、本日はご出席いただき、誠にありがとうございます。 初めに、委員の出席状況についてご報告いたします。 委員総数 15 名のうち、崎野委員、川崎委員、堂藺委員、市渡委員の 4 名が欠席となり、11 名の出席で、垂水市総合開発審議会条例第 6 条第 2 項に定める定足数を満たし、本審議会が成立したことをご報告いたします。 また、本審議会は垂水市会議録の作成に関する規程第 3 条に基づき、全文記録とし、発言者の氏名を伏せた形で会議録作成を行い、ホームページ上で公開する予定としておりますので、ご承知おきください。 続きまして、会次第 2 の市長挨拶でございます。 垂水市長よりご挨拶申し上げます。
市長	…	皆様、おはようございます。 垂水市長の尾脇でございます。

委員の皆様におかれましては平素より、垂水市政に対しまして、大変なご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げたいと思います。

さて、本市におきましては、平成 30 年に策定をいたしました、「第 5 次垂水市総合計画」に基づき、まちの将来像、「九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち 垂水」の実現に向け、様々な取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、第 5 次総合計画の基本計画策定年度である、令和 4 年度において、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による、物価高騰等によりまして、市民生活や社会活動が大きく影響を受け、社会情勢の先行き不透明であったことから、後期基本計画の策定を見合わせ、前期基本計画を 2 年間延長するという事について、本審議会より、意見つきの答申をいただきまして、令和 7 年度を、はじめとする、第 6 次総合計画兼第 3 期総合戦略を策定することとなったところでございます。

本日はその第 6 次総合計画兼第 3 期総合戦略策定の基礎資料となります、令和 5 年度市民満足度調査の結果や、来年度のスケジュール等につきまして、皆様方にご報告をさせていただくために審議会を開催させていただきました。

また、本審議会終了後、引き続き、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催させていただきます。

委員の皆様方には、何かとご多用の中でございますけれども、どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げ、開会に際してのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局 1

...

ありがとうございました。

誠に恐縮ではございますが、尾脇市長は次の公務のため、これをもって退席をさせていただきます。

すみませんがご了承の程、よろしくお願いします。

それでは、早速審議に入ります。

ここから先の議事進行につきましては、垂水市総合開発審議会条例第 5 条第 3 項の規定により、A 会長をお願いいたします。

それでは A 会長、よろしくお願いします。

議長

...

これまでに引き続きまして議長を務めさせていただきます。

A でございます。

よろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、審議に入りたいと思いますが、審議の 1 番目「令和 5 年度市民満足度調査結果の報告」についてでございます。

事務局からご説明をお願いいたします。

(A 会長)

- … おはようございます。
- 本日は何卒、よろしくお願いいたします。
- 始めに、配布資料の確認ですが、まず、会次第、次に、右上に資料 1 と記載された A3 二つ折りの資料、続いて、右上に資料 2 と記載された横向きの冊子、以降の資料 3 は条例となります。
- それでは、審議(1)の『令和 5 年度市民満足度調査結果の報告について』、ご説明いたしますので、
- 右上に資料 1 と記載された資料の準備をお願いいたします。
- 1 ページ目をご覧ください。
- この資料は、『令和 5 年度市民満足度調査結果』の概要版となっておりますので、要点を絞ってご報告させていただきます。
- まず、調査方法ですが、前回の審議会でお示ししましたとおり、今年度、8 月 28 日から 9 月 11 日にかけて垂水市内在住の 18 歳以上の市民、1,000 人を対象に、調査を実施いたしました。
- 次に、回収結果についてですが、全体で 33.1%の回収率となりました。
- これについては、前回実施した、令和元年度と比較して、マイナス 49.8%となっておりますが、振興会長による調査表の配布と回収を、実施しなかったことによるものと考えられます。
- 回答構成については、図でお示ししているとおりでございます。
- 2 ページ目をお開きください。
- 次に、調査結果でございます。
- 今回の調査実施にあたり、第 5 次垂水市総合計画に定められた、28 の政策展開について、「重要度」と「満足度」を 5 段階で評価していただき、各政策の平均値により、順位付けを行いました。
- 重要度、満足度、ニーズ値における、1 位から 10 位までの政策名については、資料下段にお示しているとおりでです。
- 重要度については、「災害後の復旧・復興対策の迅速な対応」が最も高く、2 位は「災害に強い都市基盤の整備」となりました。
- 満足度については、「健康づくりの推進と医療体制の充実」が最も高く、2 位は「地域防災力の向上」となりました。
- 最後に、ニーズ値についてですが、こちらは、重要度の平均値から満足度の平均値を引いて算出される値で、順位付けを行っているものです。
- ニーズ値は、「市内産業の振興と企業誘致の推進」が最も高く、2 位は「就労の促進と多様な働き方の支援」となりました。
- 3 ページをご覧ください。
- こちらは、全 28 施策の重要度と満足度の相関分析をグラフで示したのとなっており、「満足度も重要度も高く、現在の水準を維持する項目」である、A エリアから、「満足度も重要度も低く、現状維持又はあり方について検討する項目」である、D エリアまで、エリア分けを行った結果でございます。
- 結果の分析として、前回調査において、重要度及びニーズ値が最も高かった、「防災力の充実」に該当する項目は、今回の調査で満足度が非常に高く、各施策の成果がみられます。

また、前回と同様に、「医療体制の充実」に該当する項目の満足度が非常に高く、平成 29 年度から始まった、「たるみず元気プロジェクト」が、継続して効果を実感できていることが考えられます。

そして、今回の調査で重要度及びニーズ値が上位となった、「就労の促進と多様な働き方の支援」については、コロナ禍における、多様な働き方の普及等により、働き方に対する意識の向上に繋がったものと考えられます。

最後に、4 ページをお開きください。

今後の居住志向についてです。

こちらは、前回の調査に引き続き、「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか。」という質問項目を設定し、5 段階評価とその理由について、調査を行ったものでございます。

5 段階評価の回答については、323 件の回答があり、「住み続けたいと思う」と回答した人が 42.1%、「どちらかといえばそう思う」が 24.2%、「どちらとも言えない」が 22.3%、「どちらかといえばそう思わない」が 5.6%、「住み続けたいと思わない」が 5.9%となりました。

これらの回答結果から、「住み続けたいと思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合が、約 6 割を占めており、居住志向は高いと言えます。

しかし、前回実施と比較して、「住み続けたいと思わない」人の割合が、1.7%増加しており、今後も、住み続けたいと思わない理由として挙げられたことに対して、改善を行っていく必要があると考えられます。

最後に、まちづくりの進め方についてです。

第 5 次総合計画を実現するために掲げている、「まちづくりの進め方」について、先に述べました、28 の政策展開と同様に、「重要度」と「満足度」の調査を行い、ニーズ値を算出いたしました。

結果として、項目 3 の「近隣市等との広域連携の推進」において、重要度とニーズ値が高い傾向にあり、市民の関心の高さがみられることから、今後も近隣自治体との連携推進を行うことにより、市民生活の向上に繋がると考えられます。

また、項目 1 の「市民と行政の協働によるまちづくり」において、自由記述に「もっと市民の声を」といった意見が多数あったことから、今後もアンケート等を通じて、市民の皆様の声に耳を傾け、「住み続けたい」と思うまちづくりを推進していく必要があると考えます。

以上で、『令和 5 年度市民満足度調査結果の報告』とさせていただきます。

なお、調査結果報告書の完全版については、議員等へ配布を行った後、市 HP にて掲載予定です。

それでは、ご審議の程、よろしくお願い致します。

議長

...

はい。

(A 会長)

ただいま事務局から説明がございました。

委員の皆様からご意見、ご質問等ございますでしょうか。

それではどうぞ。

B 委員	…	就労の促進と多様な働き方の支援っていうところと、それから、今後住み続けたいと思わない理由として挙げられたところなんですけれども。 ここの、人数として上がっているところっていうのは、世代間で意見が乖離していないかどうかっていうところを、ちょっと確認をしていただきたいと思います。 人口が少なくなってきた人数の中でやっぱりリタイアした人達の活動をもっと促進していかないといけないという思いがあるのですが、その辺はどうだったかなということで、高齢者の就労について、どんなふう考えているかということを知りたいということ。 それから住み続けたいと思わない理由として挙げられていることの中身を教えていただきたいと思います。 それと、これが質問です。 あと、意見としては、アンケートを通じて最後の方、4ページの「市民の皆様の意見に耳を傾けて」ということなのですが、これ、できることならばアンケートとかよりも、あっさり定点モニターを作って、意見を吸い上げることをもっと積極的にやったらいいんじゃないのかなというふうにちょっと感じました。 以上でございます。
議長 (A 会長)	…	はい、では事務局の方から回答をお願いしますけれども、質問は二つということでございましたが、まずそれについてお願いいたします。
事務局 2	…	では、まず、最初にご質問いただきました、就労の促進と多様な働き方の促進について、世代間の乖離があったかというところなんですけれども、こちらにつきましては、詳しい世代間での回答の集計の分析っていうのは、ちょっとまだできてないところでありまして、ただ、データがありますので、いただきましたご意見をもとにちょっと、今後そこについての分析をかけていきたいと思えます。 2点目にご質問いただきました、住み続けたいと思わない理由についてどういったものがあったのかということだったと思うんですけれども、こちらにつきましては、自由記述で多かった意見として、やはり交通体制についての不安や医療体制についての不安というところについてが多かったところでございます。 その中でも、将来的に車に乗れなくなった時に、移動手段に対して不安があるというような声がありましたので、そちらについては今後改善できるように関係課等と協議を重ねていく必要があるなど感じたところでした。 最後の、アンケートの定点モニターについてなんですけれども、こちらの方につきましては、また今後検討を行っていききたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 以上です。

議長 (A 会長)	...	ありがとうございます。 では、C 委員お願いします。
C 委員	...	はい、幾つかちょっと確認事項がございますけども。 ちょっと前回参加できていないので、アンケート実施方法について、合意ができているのであれば、ちょっと間違いになるかもしれないのですが、回収率が今回、かなり低くなっているということについてまず事務局としてどういうふうに評価するのかということがまず 1 点目です。 2 点目として、私の記憶であれば、現在進行中の計画の中に、やはり九つの彩ということで、九つの地区の個性を大事にするということをこれまでずっとやってきたと思うんですね。 そうした時に、今回地区ごとの回答構成ではないということで、果たしてその各地区のリアリティーを把握できているのかを見たときに、やや疑問に思いますので、そこを事務局としてどのようにとらえていくということが、2 点目になります。 それで、垂水市の市民満足度調査っていうのは、かなり実績があって、スキーム化されているので、こういった「重要度」と「満足度」ということが出てくること自体が非常に大事なことだと思うんですが。 ただ、いま問題にしなければいけないのは、どういう基礎データをもとに出た結果なのかなというところですね。 それは、今、B 委員がおっしゃったように、世代間の比較ももちろんそうですし、やっぱり、地区間の比較がないと、ちゃんと何かリアリティーをつかんだ上での施策はできないんじゃないかなということを思いますので、ちょっとその点、まずは事務局の考えをお聞かせいただければと思います。
事務局 2	...	ご質問ありがとうございます。 まず、最初のアンケートの回収率についてだったんですけども、前回までは先ほども述べましたとおり、振興会長の方へ調査票の配布と回収まで全て行っていただいております。 ただ、こちらの方が、振興会長の方々には、負担になるといったことから、今回から新しく郵送による回答と、web 回答を設けたところでございます。 こちらについては、やはり人の手で回収するものではございませんので、回収率の方は低くなってしまったんですけども、回収率の統計学上の最低数を一応超えてはきましたので、データの的に最低限必要なデータ数はとれたのではないかと考えております。 2 つ目のご質問の、地区ごとの回答構成についてだったんですけども、こちらにつきましては、お配りしている概要版の資料については、記載はないんですけども、完全版のほうには地区ごとの回答構成も、反映をさせておりますので、そちらについては、データとしてこちらにございます。 一番最後の、どういう基礎データをもとに、アンケート調査を行ったのかっていうところなんですけれども、対象者につきましては、こちら無作為抽出で、垂水市の人口の各地区の割合が 1000 人に対し

て、各地区の割合が、人口 1 万 3000 の人口の割合と同じになるように、1,000 人の中でも、垂水市の人口、地区の人口、が同じになるようにしたことと、年代と性別等を考慮して配布を行ったところでございます。

以上です

C 委員

... はい、どうもありがとうございます。

多分、考え方だと思うんですけども、各振興会長さんの負担が大きいいというのは非常によく理解します。

ただ、この計画自体が、重要性だとか必要性だとか、どこまで振興会長さん以下、共有できているのかということも通った方がいいと思うんですね。

つまり、大変であったとしても、ちゃんと地区の声が上がってくるっていうことが、それが直接、これからの 10 年後の計画に反映されるわけですね。

ですので、そういった意味や意義っていうことをちゃんと伝えた上で、それでもやっぱり駄目だという話なのか、何かそこら辺のコミュニケーションっていうか、そこは、もし、諮っておられたらですね。

そこはいいんですけども、そこはちょっと必要ではなかったかなというふうに思いますし、これからでも遅くないのかなというところをちょっと感じているところです。

あとこれは垂水市が今後 10 年計画として、九つの地区ということのをどれほど重視するのかによって、多分、今日出されている、その基礎データにも、やはり姿勢があらわれてくると思うんですね。

今回出されたものでいうと、今後はそういったことは必ずしも重視してこないというふうにもちょっと見受けられるんですね。

ですので、本当に、牛根の地区と、垂水の中心市街地だと、やっぱり人口規模も、属性もですね、かなり焦点がですね行動範囲が違ってくると思うので、以前もお伝えしたと思うんですけども、やはりメッシュをもっと細かく見ていかないと、本当に必要な施策っていうことは得られないかなと思いますので、ぜひ次回以降ですね、データがあるということです、実績等をお願いしたいなと思います。

以上です。

議長

... ありがとうございます。

(A 会長)

ぜひね、今回がどうかということではないので、次回ですね、こういったことをやるときに、今のこういった意見をぜひ参考にしてください。

端的に言うと、回収率をしっかりと高めていくということと、それからやっぱり地区ごとに事情が違ってくるわけなので、地区ごとのそういう政策をカスタマイズしていくという方向性をしっかりと出してですね、地区ごとの分析までやると。

それから加えて年齢ごとの分析もしっかりやるというようなことですね。

次回、こういったことを行う場合は、ぜひそれを念頭に置いた計画を期待をしたいと思います。

		はい。ありがとうございました。 委員の皆様からいかがでしょうか。 お願いします。
D 委員	...	まちづくりの進め方の中で、ニーズ値が高いのが隣接市との広域連携の推進なんですけど。 これは、イメージとして、鹿児島市なのか、霧島市なのか、まずその中身が把握できているのかということと、実際そういう広域的なですね相互連携が可能となり、利便性の向上に繋がると考えられるとありますけども。 事例でですね、他の市でもこういった、相互連携、近隣自治体との連携推進行ってるところがあるのか、もしご存知だったら教えていただければと思います。
事務局 2	...	ご質問ありがとうございます。 一番初めにご質問いただきました、広域的な連携の推進というところで具体的な市町村はどちらになるのかというところだったと思うんですけども、よせられた意見の中では、鹿屋市であったりとか、霧島市とかっていうところでご意見があったところがございます。
事務局 3	...	今、D 委員より質問がございました、近隣自治体との連携のことですけれども、こちらの方、特に、大隅においては、鹿屋市さんが中心的な役割を担っていらっしゃるしまして、その報告ですけれどもやはり、一番、ここ最近で話題に挙がってきますのは、交通関係の連携ですね、そういったところと、あと医療体制、こういったところにおいて、連携を深めた形で、広域的な部分をカバーできないかというところが、主に話題として挙がっていることでございます。 そういった方向での連携という部分が、一番また市民生活においても、身近なところという形が感じられるところでございます。
議長 (A 会長)	...	ありがとうございます。他いかがですか。 よろしいでしょうか。 それではですね、ご意見も出尽くしたというふうなようですので、次の審議に移らせていただきます。 資料の 2 番目「令和 6 年度のスケジュールについて（確認）」ということでございます。 事務局より説明をお願いいたします。
事務局 2	...	それでは、審議(2)の『令和 6 年度のスケジュールについて（確認）』についてご説明いたしますので、右上に資料 2 と記載された資料の準備をお願いいたします。 1 ページ目をお開きください。 この資料では、前回までの内容の確認と、令和 6 年度年間スケジュールについて、説明させていただきます。 2 ページ目をお開きください。 まずは、前回までの内容の確認でございます。 資料に記載しておりますとおり、令和 4 年度に、 令和 7 年度を始期とする、総合計画兼総合戦略の統合に向け、現行の第 5 次総合計画の基本構想を 3 年前倒しし、前期基本計画期間

を2年延長したところでございます。

次に、3ページ目をお開きください。

令和5年度の審議会スケジュールでございますが、本年8月に、第1回目の審議会を開催し、主に、市民満足度調査に係る事項の説明と、DX推進体制について、説明させていただきました。

そして、本年2回目となる審議会を本日開催し、先ほど、市民満足度調査の結果について、ご報告させていただいたところでございます。

次に4ページ目をご覧ください。

「令和6年度年間スケジュール」について、ご説明させていただきます。

5ページをお開きください。

令和6年度におきましては、次期総合計画兼総合戦略の策定を行うことから、審議会を年3回、ワーキンググループを3回、実施予定でございます。

各審議会及びワーキンググループの詳細については、表でお示ししているとおりでございます。

まず、令和6年4月に第1回審議会を開催し、審議会委員の委嘱等を行い、次期総合計画兼総合戦略の構成案をご提示させていただきます。

この構成案を基に、基本目標毎に、ワーキンググループを設定し、委員の皆様におかれましては、所属するグループの振分を行わせていただきます。

それを基に、5月に第1回ワーキンググループを開催し、計画の全体構成及び考え方等の説明を行い、課題設定として、目標設定のための施策について、市民を交えて検討を行っていただきます。

その後、6月から7月にかけて、ワーキンググループを実施し、最終的に、計画の各基本目標の素案を作成していただきます。

そして、8月に第2回の審議会を実施し、計画素案を提示し、各ワーキンググループより、基本目標毎の素案について、発表を行っていただきます。

その後、計画素案をパブリックコメントにかけ、11月に第3回審議会を開催し、計画素案の承認を行う形となります。

令和6年度スケジュールについては、以上となりますが、6ページをご覧ください。

補足として、委員の皆様に取り組んでいただく、総合計画兼総合戦略の構成図について、提示させていただいておりますので、ご確認ください。

以上で、『令和6年度のスケジュールについて』とさせていただきますので、ご審議の程、よろしくお願い致します。

議長
(A 会長)

... はいありがとうございました。

ただいま事務局からスケジュールについてご説明ございましたけれども、皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。

確認ですけれど、本年度は、今日のこれをもって終了ということ

		で、令和6年度にまたあると。始まるということですよ。 そのワーキンググループというのは、この委員会は直接は関係しないと。
事務局 2	...	ワーキンググループについては審議会委員の皆様を、グループ分けして行いたいと思いますので、すいませんが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
議長 (A 会長)	...	そうですね。 ですからそこにご協力お願いいたしますということでございます。 何かご意見ご質問はございますでしょうか。
B 委員	...	このワーキンググループが3回あると思うんですけれども、その第1回目の審議会ということで、その時に、多分ワーキンググループのワークをするための、材料というのが提示されるのかなと思うんですけれども、これはその材料としては今回の満足度調査とか、そういうものを反映させて材料を準備されるということでよろしいのでしょうか。
事務局 2	...	ご質問ありがとうございます。 今おっしゃいました通り、今回の市民満足度調査の結果を反映させたものをご提示できればと思っております。以上です。
議長 (A 会長)	...	はい、ありがとうございます。 他はどうでしょう。よろしいですかね。 来年の話なんで、まだちょっとピンとこないところがあるんですけれども、具体的な施策に反映されるような活動になるというふうにイメージをしておいていただければいいのかなと思います。 よろしいでしょうか。はいありがとうございます。 それでは審議事項はすべて終了しましたので、事務局にお返しいたします。
事務局 1	...	ありがとうございます。 委員の皆様で、その他に何かご発言等、ございませんでしたでしょうか。 では、以上で第4回垂水市総合開発審議会を閉会いたします。